



# まほろばの丘から

平成 29 年 6 月 16 日 文責 校長 古賀 淳子



## 第 3 2 回 姉妹校交流 を実施しました

6月8日(木)～10日(土)の3日間、韓国・百済(ペクチェ)初等学校の朴美淑(パク・ミスク)校長先生をはじめ13名の児童と5名の先生や学校運営委員の方が本校を訪問されました。実に3年ぶりの交流再開です。韓国のお友だちは西小の児童宅にホームステイしました。2日目は全校で交流集会を実施しました。日本からはクラブ活動で練習してきた日本の伝統文化「琴」「日本舞踊」や、3年生の花笠音頭、4年生の琉球民謡踊りを披露



日本舞踊クラブの発表

しました。百済小のお友だちからは韓国伝統の「テコンドー」「面踊り」や「チマチョゴリを着た伝統舞踏」を見せていただきました。学校やPTAからの

記念品交換の後、両校の児童が作った

韓国テコンドーの発表

作品を紹介し、作品交換をしました。

学校の記念品交換

最後に「ふるさとの春・コヒャンエポム」を全員で合唱しました。交流会の後は各教室に百済小のお友だちを招いて体験学習し、最後に給食を一緒にいただきました。

韓国語を使って体験学習

その日の午後はホームステイ先の家庭と市内観光等を楽しみました。

1年生の給食準備を見学

た。受け入れてくださった皆さん、本当にありがとうございました。

10日(土)の朝、楽しい3日間で交流を深めた百済小学校のお友だちとのお別れ式を開きました。あっという間の3日間ですが、とても有意義な時間になり、百済小学校と太宰府西小学校とが互いに心を通じ合わせ、さらなる友情を深めることができたと感じました。

「一夜を共に寝ても万里の長城を築く(付き合いは短くても、情は深い)」と言う韓国のことわざのように、短い日程でしたが、両国の文化の違いを理解し、尊重し合い、ホームステイの家庭では日本の生活風習を直接体験することでお互いの友情を築いた、楽しくて大切な体験でした。韓国訪問団には深い感動あふれる時間でした。おそらく一生忘れられない、大切な思い出になるでしょう。(韓

涙のお別れ・・・

また会おうね!

